

③⑥ 千本檜

日竜峯寺本堂の前にある樹高およそ20mの檜です。日竜峯寺は、飛驒の異人「両面宿儺^{りょうめんすくな}」が、高沢の山頂に住みついて周辺の人々に危害を及ぼしていた神竜を退散させて建立したと言いつたわれています。その際に両面宿儺が手にしていた檜の杖に千本の枝葉が茂り、この千本檜になったと言われています。

豆知識

両面宿儺—『日本書紀』に書かれている2つの顔を持ち、手と足が4本ずつある奇人です。仁徳天皇の時代に飛驒に現れたとされ、武振熊命に討たれたとされています。岐阜県各地には在地伝承が残っています。



関の文化財探訪

その20

関の「文化財」を紹介します。

照会先 文化財保護センター ☎46-2313

③⑥ ③⑦



③⑦ 日竜峯寺 籠堂^{こもり}

本堂 (No. ⑬) の東側にあり、本堂と同様に崖面に造られ、懸造り^{かけつく}になっています。切妻造りで、椽瓦葺きの簡素な建物です。内部は畳敷になっており、天井には彩色画がみられます。寺の資産台帳には文化3年(1806年)の建造と書かれ、天井には天保期の落書きが残っています。

【アクセス】 関市自主運行バス・岐阜バス「高沢観音口」下車、徒歩約30分
東海環状自動車道・富加関ICから
県道58号線を車で約20分